

Event Report イベントレポート

女子ラグビーチームYOKOHAMA TKMが市長を表敬訪問

2022年8月25日UP



(写真左から) 内海選手、松永選手、角川選手

国内最高峰の女子7人制ラグビー大会である太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2022に参戦する横浜スポーツパートナーズの一員YOKOHAMA TKMの関係者が、シリーズ終了報告のため、8月23日（火）山中竹春横浜市長を表敬訪問しました。



横川秀男代表

「多くの市民の皆さまのご支援・応援をいただき、第1戦熊谷大会で優勝、年間総合順位3位となりました。これからも上位を目指して頑張ります」



長谷部直子監督

「創部11年目で最上位の成績を取ることができました。これから15人制の試合に向けても頑張ります」



松永美穂（まつながみほ）キャプテン

「私自身もやっと結果を残すことができ安心しました。YOKOHAMA TKMが市民に認められるよう頑張ります。横浜キャノンイーグルスと共に、横浜のラグビーを盛り上げたいと思います」



内海春菜子（うつみはなこ）選手

「今年から入部し、選手・チームスタッフと一緒にのびのびとプレーすることができました。これからはYOKOHAMA TKMの知名度が向上できるよう頑張ります」



角川穂乃花（つのかわほのか）選手

「私自身2回目の出場でしたが、年間総合3位の順位になることができました。これから15人制で優勝できるよう頑張ります」



山中竹春市長

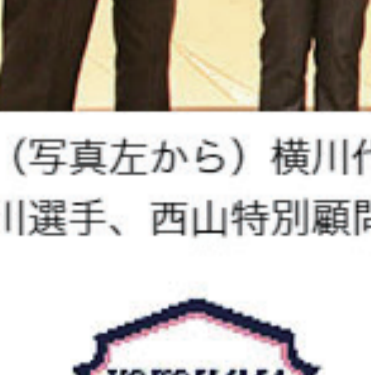
「地元横浜のラグビーチームが、優秀な成績を取られたことを誇りに思っております。これからは横浜市民と一体で応援していきたいと思っております。この横浜では、ラグビーワールドカップTM2019の決勝戦が行われました。ラグビーワールドカップでの機運が、レガシー（未来へ受け継いでいく形）として子どもたちのスポーツの選択肢のひとつとして普及していただきたいです。来シーズンと、これからの15人制のシーズンでの活躍を期待しています」

市長も高校時代、ラグビー選手（フォワード）であったことから、意気投合した会談になりました。

今シーズンは年間総合順位3位のYOKOHAMA TKM。来シーズンは、さらなる上位進出の活躍を期待しましょう。



(写真左から) 横川代表、長谷部監督、松永キャプテン、山中市長、内海選手、角川選手、西山特別顧問



【YOKOHAMA TKMについて】

YOKOHAMA TKMは、女子7人制ラグビーチーム「TKM7（戸塚共立メディカルセブンズラグビークラブ）」として、2011年8月8日に横浜・戸塚に生まれました。

ユニフォームにあるエンブレムの桜は、愛すべき「戸塚区の花」を意味すると同時にラグビー日本代表の象徴であり、日本の女子ラグビー発展の礎となる気概を示しています。

【ウィメンズセブンズリーグについて】

日本女子ラグビーの発展と普及を目的とし、日本ラグビーフットボール協会が主催する女子7人制（セブンズ）ラグビーのサーキット（大会）。